

ごあいさつ

毎年5月の第3土曜と翌日曜に開催される「風治八幡宮川渡り神幸祭」は、約450年続く福岡県の五大祭りの1つです。

お立ちの獅子舞いの後、参道をくだり万来の拍手で迎えられた大神輿は、白鳥神社の神輿、11基の山笠と合流し川へと向かいます。大神輿を先頭に緋色の鮮やかな幟山笠(のぼりやまがさ)が彦山川を渡り、川の中で若衆が山笠を揺すり氣勢をあげ、水を掛け合うシーンは祭のクライマックスです。

デジタル化により写真愛好家のすそ野は広がり、川渡り神幸祭にカメラをかかえて訪れる観光客は年々増えております。また、カメラ付き携帯電話やネットへの掲載など、写真の楽しみ方は多様化しております。

田川光影会では、この祭りの姿を写真という形で後世に伝えたいと願い、毎年写真コンテストを開催してまいりました。51回目の昨年は、川渡り神幸祭を盛り上げようと活動している「まつり IN 田川実行委員会」と実行委員会を組織し、募集のネット掲載、カレンダー/ホームページ部門の新設など、写真コンテストのリニューアルに努めました。本年はお知らせの範囲をさらに拡大し、昨年を大幅に上回る208名、776枚の応募があり、祭りとコンテストのアピールの結果と関係者一同胸をなで下ろしております。

このように盛大に第52回目の写真コンテストの表彰式、写真展及び写真展開催式典を催すことができますのは、ひとえに関係者の皆様のご支援のたまものです。

今後も皆様のご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年8月1日

川渡り神幸祭写真コンテスト実行委員会
実行委員長 實 藤 清 實